

学校
通信

心豊(しんま)



三豊市立仁尾中学校

令和8(2026)年
4月9日(木)
● 第1号 ●

3月末に正門近くの2本の桜が咲き始め、遅れること数日、他の桜も咲き始めました。始業式・入学式にはほぼ満開となり、華やかな薄ピンク色は学校の新しい始まりを祝うかのようです。4月7日(火)に始業式、8日(水)には入学式を終え、いよいよ令和8年度が本格的に始まったと、身の引き締まる思いがしています。

赴任して4年目を迎えました。教育目標「心豊かでたくましい生徒の育成」と学校づくりのスローガン「自立型人間になろう(豊かな心を持ち、自分と他人を愛することができる生徒)」は変えていませんが、今年重点課題を大幅に変更しました。その実現に向けたより具体的な取り組みを通して成果をあげながら、家庭や地域にますます信頼される学校をめざして参ります。

- 「授業の内容が理解できている」の肯定率を85%まで引き上げる。
- 「家庭学習の習慣が身に付いている」の肯定率を65%まで引き上げる。
- 多様な人との関わりの場(学校全体または希望制)を年間6回以上設ける。
- 令和11年度に向けて、運動会・合唱コンクールの理想的な在り方を再構築する。

始業式で今年度、特に頑張ってもらいたいこととして次のような話をしました。

1つ目は、学習に対してです。本校生の特徴として、勉強を好きではないが、授業は楽しい。授業は楽しいが、授業の内容があまり理解できていない。家庭学習の習慣が未定着で、宿題類の未提出が多いことがあげられます。そこで、「授業の内容が理解できている」の肯定率を、現在の76%から85%まで向上させることと、「家庭学習の習慣が身に付いている」の肯定率を、現在の53%から65%まで向上させることの2つを目標にしています。簡単な数字ではないと思いますが、先生方と協力しながら、意識して頑張ってもらいたいと思います。

2つ目は、今年度も色々な立場の方を学校にお招きし、多様な考えをもつ人と関わる場を年間6回以上設けようと考えています。これは、予測困難な時代を生きる皆さんに求められる資質・能力の1つでもある、ダイアログ:多様な考えをもつ人との関わりを意識したものです。昨年度は、ちちぶの会の方からのミニ講話に始まり、最後はFC今治高校里山校の校長先生による夢講演会など11回の出会いがありました。多様な考えをもつ人たちと関わることを通して、共生社会への理解を深めたり、多文化共生への意識を育んだり、柔軟な思考力や判断力を養ったりするなど、皆さんが人間的な成長や社会性を育む良い機会になればと考えています。

今年度は全校生徒117名と教職員26名でのスタートとなりました。「自立型人間になろう(豊かな心を持ち、自分と他人を愛することができる生徒)」のスローガンの下、子どもたちが新しい学級で新しいなかま、新しい先生方と力を合わせながら、自立に向かっての成長がなされるように、私たち大人がしっかり見守り、温かな眼差しを送っていこうと思います。保護者の皆様には、本校教育活動にこれまでと変わらぬご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

5名の教職員が着任しました。よろしくお願いいたします。

氏名	前任校等	教科等

なお、家庭科の〇〇先生は、毎週金曜日のみの勤務です。その他、〇〇〇〇さんが男子ソフトテニス部の外部コーチとして新規採用されています。